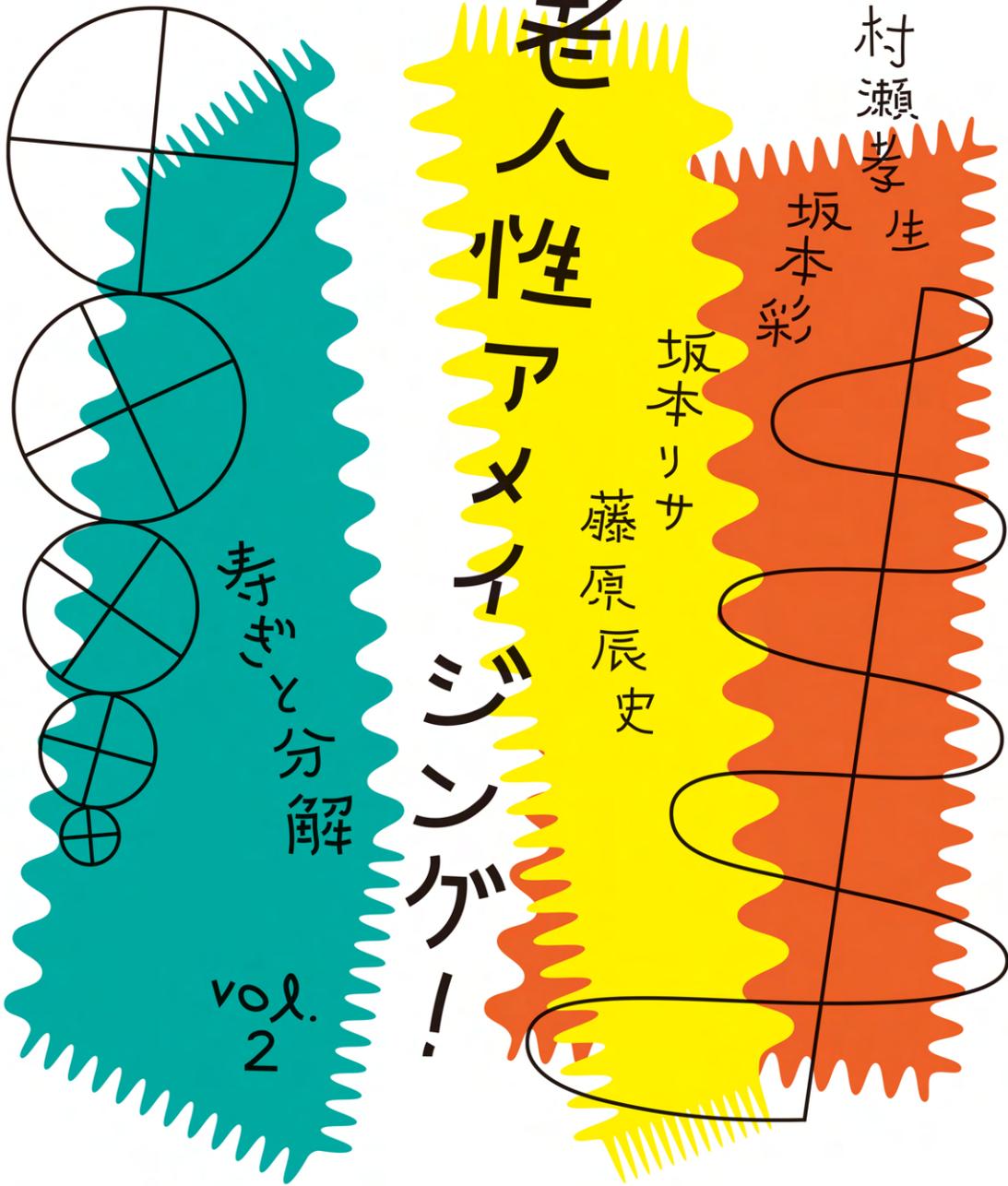


老いるってこんなに面白い。老いることを積極的に捉え直す2日間

主催 公益財団法人せたがや文化財団 生活工房 協力 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属共生のための国際哲学研究センター(UTCP)、東京大学大学院総合文化研究科・教養学部ピアノ委員会
後援 世田谷区、世田谷区教育委員会



老いと寿 2025年2月9日(日) 14:00-18:00 **村瀬孝生、坂本彩・坂本リサ**
「宅老所よりあい」ほか統括所長 ピアニスト
 東京大学 駒場Iキャンパス 駒場コミュニケーション・プラザ北館 2F 音楽実習室

死と分解 2025年3月22日(土) 13:00-18:30 **藤原辰史、村瀬孝生**
京都大学人文科学研究所准教授
 東京大学 駒場Iキャンパス 21 KOMCEE West B1F レクチャーホール

世田谷文化生活情報センター
生活工房
 Lifestyle Design Center



画像1:「老人性アメイジング! vol.2 老いと分解」フライヤー

[主催] 公益財団法人せたがや文化財団 生活工房

[協力] 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部附属共生のための国際哲学研究センター (UTCP)

東京大学大学院総合文化研究科・教養学部ピアノ委員会

[後援] 世田谷区、世田谷区教育委員会

 **Outline****老人性アメイジング！ vol.2 寿ぎと分解****① 老いと寿ぎ [小噺+トーク+演奏]**

日時 2025年2月9日[日] 14:00-18:00

ゲスト 村瀬孝生 [「宅老所よりあい」ほか統括所長]

演奏 坂本彩、坂本リサ [ピアニスト]

会場 東京大学 駒場Iキャンパス 駒場コミュニケーション・プラザ北館2階 音楽実習室

交通 京王井の頭線「駒場東大前駅」東口よりすぐ [〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1]

② 死と分解 [小噺+講演+鼎談]

日時 2025年3月22日[土] 13:00-18:30

ゲスト 村瀬孝生 [「宅老所よりあい」ほか統括所長]、藤原辰史 [京都大学人文科学研究所准教授]

会場 東京大学 駒場Iキャンパス 21 KOMCEE West B1F レクチャーホール

交通 京王井の頭線「駒場東大前駅」東口よりすぐ [〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1]

両日進行 山内泰 [一般社団法人 大牟田未来共創センター理事]

参加費 各日 3,000円 [自由席]

定員 各日 120名 [申込先着]

申込 2024年12月25日[水] 10:00より生活工房 WEB 申込フォームにて

※パスマーケットによる事前決済。 ※後日 YouTube での一部公開を前提に撮影が入ります。

主催 公益財団法人せたがや文化財団 生活工房

協力 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部 附属共生のための国際哲学研究センター (UTCP)、
東京大学大学院総合文化研究科・教養学部ピアノ委員会

後援 世田谷区、世田谷区教育委員会

 **Press****画像のご使用について**

▶本リリース掲載の画像の貸出をご希望の方は、①媒体名 ②御社名 ③ご担当者名 ④ご連絡先 ⑤ご希望の画像番号を明記の上
下記広報担当まで Eメールでお申し込みください。 ▶使用後のデータは破棄してください。

▶お手数ですが、基本情報確認のため掲載前に一度原稿をお送りください。

本事業についてのお問い合わせ

公益財団法人せたがや文化財団 生活工房

〒154-0004 東京都世田谷区太子堂 4-1-1 キャロットタワー

TEL: 03-5432-1543 Fax: 03-5432-1559

Mail: info@setagaya-ldc.net Web: www.setagaya-ldc.net

広報担当：石山那緒子 事業担当：中村幸、齋藤直子

 **Point****▶ 老いのパラダイムシフト**

自らの体の衰えや親の介護など、誰もが「老い」について不安を抱える超高齢社会。

理性的・自律的な人間をモデルとして、それに合致することが難しくなった人々を逸脱や衰退と捉え、治療や矯正でいかに〈正常・普通〉に戻すかを重視する現代社会は行き詰まりをみせ、転換を迫られています。本企画では、既存の人間観への拘りを解きほぐし、より包括的で自由な人間像を模索します。

▶ 老いるってこんなに面白い

NHKの番組で紹介され「こんな老人ホームなら入りたい!」と大反響をよんだ

「宅老所よりあい」の施設長：村瀬孝生さんの老い小噺。

『分解の哲学 — 腐敗と発酵をめぐる思考』でサントリー学芸賞を受賞した歴史学者：藤原辰史さんの講演。

数々の国際ピアノコンクール・デュオ部門にて1位受賞の注目のピアニスト坂本姉妹による演奏など。

ネガティブに捉えられがちな「老い」のイメージを、多様なコンテンツから積極的に捉え直すアメイジングな2日間です。

 **Summary**

介護の小噺、ピアノ演奏、哲学の講演など、多彩なコンテンツを通して、ネガティブに捉えられがちな「老いや死」のイメージを積極的に更新するアメイジングなイベント。

超高齢社会の現代。身体の衰えや記憶力の低下など「老い」を迎えることによって、それまでの自分が失われてしまうのではないかと不安に思う人もいるかもしれません。例えば、現代社会でネガティブに捉えられがちな認知症は、時間と空間の見当がつかなくなる方も多いいわれています。

一人一人の老いに寄り添う先進的なケアで全国的に注目を集める介護施設「宅老所よりあい」の村瀬孝生さんは、老いの世界を生きるお年寄りたちの真面目で滑稽な様子を、豊かなものとして積極的に捉え直す意味を込めて「老人性アメイジング」という言葉を提唱しました。それは、社会規範に適応してきたはずの自分が揺さぶられる戸惑いや、老いゆくことの不可思議さを体験する驚きを丸ごと肯定する人間観に立脚しています。既存の人間観への拘りを解きほぐし、より包括的で自由な人間像を模索する捉え直しの態度は、あらゆる世代の人に響くものです。

1日目は、お年寄りの真面目で滑稽な様子を語る「介護小噺」と既存の音楽観を解きほぐすピアノ作品の演奏を交えながら、老いゆくことの悲喜交々や不可思議さが寿がれるあり方を探ります。

2日目は、村瀬さんが自然循環から独自に捉え直した死生観と藤原辰史さんが分解の視点から生死のあわいの豊潤さを論じた『分解の哲学』を紐解き、老いや死のイメージを積極的に更新します。

Events

① 老いと寿ぎ

2月9日[日] 14:00-18:00

東京大学 駒場Iキャンパス

駒場コミュニケーション・プラザ北館2階 音楽実習室

「こんな老人ホームなら入りたい!」と全国から注目を集めている「宅老所よりあい」の施設長: 村瀬孝生さんによるユーモラスな「介護小噺」と既存の音楽観を解きほぐすピアノ作品の演奏を交えて、老いゆくことの悲喜交々や不可思議さが寿がれるあり方を探ります。

▶ 14:00-15:20 **小噺+トーク+演奏** シンクロと自由

山内泰 × 村瀬孝生 × 坂本彩・坂本リサ

15:20-15:30 休憩

▶ 15:30-16:50 **小噺+トーク+演奏** 「老い」を寿ぐ音楽

山内泰 × 村瀬孝生 × 坂本彩・坂本リサ

16:50-17:20 休憩

▶ 17:20-18:00 **演奏** 坂本彩・坂本リサ

② 死と分解

3月22日[土] 13:00-18:30

東京大学 駒場Iキャンパス

21 KOMCEE West B1F レクチャーホール

村瀬孝生さんが自然循環から独自に捉え直した死生観と藤原辰史さんが分解の視点から生死のあわいの豊潤さを論じた『分解の哲学』を紐解き、老いや死のイメージを積極的に更新します。

▶ 13:00-14:45 **小噺** 「寿ぐ死」「生死の祭典」 村瀬孝生

▶ 14:45-15:15 **鼎談** 村瀬孝生 × 藤原辰史 × 山内泰

15:15-15:45 休憩

▶ 15:45-16:45 **講演** 「分解の哲学」 藤原辰史

▶ 16:45-18:30 **鼎談** 村瀬孝生 × 藤原辰史 × 山内泰



画像 2 : vol.1 開催の様子

♪ 演奏曲目 ♪

♪ ブラームス

「4つの小品」第1曲 間奏曲 op.119-1

♪ シューマン

「暁の歌」第1曲 op.133-1

♪ ストラヴィンスキー

2台のピアノのためのソナタ

♪ バッハ

"Wenn wir in höchsten Nöten sein"
BWV641

※その他、イベント前半でも
抜粋で様々なピアノデュオ曲を演奏予定



画像 3 : vol.1 開催の様子



画像 4 : vol.1 開催の様子



Profile



画像 5：藤原辰史

藤原辰史 Fujiwara Tatsushi

京都大学人文科学研究所准教授。歴史学者。研究テーマは食と農の現代史。主な著書に『決定版ナチスのキッチン「食べること」の環境史』（共和国 | 第1回河合隼雄学芸賞）、『給食の歴史』（岩波書店 | 第10回辻静雄食文化賞）、『分解の哲学 腐敗と発酵をめぐる思考』（青土社 | 第41回サントリー学芸賞）、近著に『縁食論 孤食と共食のあいだ』（ミシマ社）、『植物考』（生きのびるブックス）他多数。



画像 6：村瀬孝生

村瀬孝生 Murase Takao

「宅老所よりあい」「第2宅老所よりあい」「特別養護老人ホームよりあいの森」（福岡市）の統括所長。時間割などを設けず“お年寄りの老いに沿う介護”の実践は、NHKで密着番組が放送されるなど多くの注目を集め、ユーモア溢れる語りで各地の講演会を沸かせている。主な著書に「シンクロと自由」（医学書院）、『ぼけてもいいよ』（西日本新聞社）、『増補新版 おばあちゃんが、ぼけた。』（新曜社）他。



画像 7：坂本彩・坂本リサ

坂本彩・坂本リサ Sakamoto Aya / Risa

ピアニスト。第70回ARDミュンヘン国際音楽コンクールピアノデュオ部門にて日本人初初の第3位入賞・聴衆賞・特別賞受賞。第7回国際ピアノデュオコンペティション第1位・パデレフスキ賞受賞。第21回シューベルト国際ピアノデュオコンクール第1位。2021年度ブルーノ・フライ音楽賞受賞。2023年度福岡市文化賞受賞。テレビ・雑誌などメディア出演多数。11月「Duettist」(fontec) リリース。

<https://www.pianoduosakamoto.com>



画像 8：山内泰

山内泰 Yamauchi Yutaka

NPO 法人ドネルモ 代表理事、(一社) 大牟田未来共創センター理事、(株) ふくしごと取締役、東京大学先端科学技術研究センター社会包摂システム分野特任研究員。美学(芸術哲学)研究に従事した後、福岡市および認知症ケアで知られる大牟田市などを拠点に、超高齢社会の諸問題を生み出す近代的な価値観を捉えなおし、これからの人間観や社会観に適った地域社会を行政や企業と共創するまちづくりの仕事に携わる。主な雑誌掲載に「老人性アメイジング！それぞれのリアリティの可笑しみ」（「精神看護」23巻5号、医学書院）など。